

平成25年度社会教育主事講習【B】実施要項

1. 趣 旨

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施するものです。

2. 主 催

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

3. 対 象

社会教育主事講習等規程第2条の各号の一に該当する方が対象です。

4. 定 員

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターを主会場として、インターネットを活用したライブ配信により、下記の9実施会場でも受講できます。

なお、実施会場での受講の詳細は「10. 実施会場における受講について」を参照してください。

あわせて、受講者の選定制限の取扱いについて、「13. 受講者の選定及び受講者決定の通知」を参照してください。

<施設名称>		<募集予定人数>
社会教育実践研究センター	【主会場】	120人
新潟県立生涯学習推進センター	【新潟会場】	20人
(財)静岡県教育会館	【静岡会場】	25人
琴浦町生涯学習センター	【鳥取会場】	24人
島根県立東部社会教育研修センター	【島根東会場】	10人
島根県立西部社会教育研修センター	【島根西会場】	5人
広島県立生涯学習センター	【広島会場】	10人
まなびの館ローズコム	【福山会場】	10人
新居浜市立泉川公民館	【愛媛会場】	10人
沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター	【沖縄会場】	20人

5. 期 間

平成26年1月22日(水)～2月28日(金) <38日間>

6. 会 場

(1) 主会場

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター【主会場】
〒110-0007 東京都台東区上野公園12-43
電 話：03-3823-0241 (内線604)
03-3823-8420 (直通)
FAX：03-3823-3008

(2) 実施会場

- ①新潟県立生涯学習推進センター【新潟会場】
〒950-8602 新潟県新潟市中央区女池南3-1-2
電話：025-284-6110
FAX：025-284-6019
- ②(財)静岡県教育会館【静岡会場】
〒420-0857 静岡県静岡市葵区駿府町1-1-2
電話：054-252-1011
FAX：054-251-9672 (※講習期間中のみ)
- ③琴浦町生涯学習センター【鳥取会場】
〒689-2315 鳥取県東伯郡琴浦町徳万266-5
電話：0858-52-1161
FAX：0858-52-1122
- ④島根県立東部社会教育研修センター【島根東会場】
〒691-0074 島根県出雲市小境町1991-2
電話：0853-67-9061
FAX：0853-69-1380
- ⑤島根県立西部社会教育研修センター【島根西会場】
〒697-0016 島根県浜田市野原町1826-1
電話：0855-24-9344
FAX：0855-24-9345
- ⑥広島県立生涯学習センター【広島会場】
〒730-0052 広島県広島市中区千田町3-7-47
電話：082-248-8848
FAX：082-248-8840
- ⑦まなびの館ローズコム【福山会場】
〒720-0812 広島県福山市霞町1-10-1
電話：084-932-7265
FAX：084-928-8609
- ⑧新居浜市立泉川公民館【愛媛会場】
〒792-0821 愛媛県新居浜市瀬戸町12-34
電話：0897-41-6463
FAX：0897-41-6499
- ⑨沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター【沖縄会場】
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 (南部合同庁舎4階)
電話：098-864-0474
FAX：098-864-0476

(3) 宿泊研修会場 (平成26年1月29日(水)～1月31日(金))

- ①主会場・静岡会場 (合同で実施)
「独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家」
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑2092-5
電話：0550-89-2020
FAX：0550-89-2025
<必要経費>
・食事代：3,750円 (1月29日昼食～1月31日昼食)
(朝食：400円, 昼食：550円, 夕食：650円)
・シーツ代：200円
- ②新潟会場
「新潟県立青少年研修センター」
〒953-0012 新潟県新潟市西蒲区越前浜5597-1
電話：0256-77-2111
FAX：0256-77-2114

<必要経費>

- ・食事代：3,950円（1月29日昼食～1月31日昼食）
（朝食：400円，昼食：550円，夕食：750円）
- ・シーツ代：180円
- ・掛け布団代：650円（1泊目：350円，2泊目：300円）

③鳥取会場

「鳥取県立船上山少年自然の家」

〒689-2525 鳥取県東伯郡琴浦町山川807-2

電話：0858-55-7111

FAX：0858-55-7119

<必要経費>

- ・食事代：4,290円（1月29日昼食～1月31日昼食）
（朝食：490円，昼食：610円，夕食：740円）
- ・シーツ代：180円
- ・宿泊代：1,760円（1泊につき，880円）

④島根東会場・島根西会場・広島会場・福山会場・愛媛会場（合同で実施）

「独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家」

〒737-2126 広島県江田島市江田島町津久茂1-1-1

電話：0823-42-0660

FAX：0823-42-0664

<必要経費>

- ・食事代：3,750円（1月29日昼食～1月31日昼食）
（朝食：400円，昼食：550円，夕食：650円）
- ・シーツ代：200円

⑤沖縄会場

「沖縄県立糸満青少年の家」

〒901-0313 沖縄県糸満市字嘉数347

電話：098-994-6342

FAX：098-995-0684

<必要経費>

- ・食事代：3,400円（1月29日昼食～1月31日昼食）
（朝食：350円，昼食：500円，夕食：600円）
- ・シーツ代：150円

(4) 現地研修会場（平成26年2月20日(水)）

①主会場（コース選択制）

【aコース】

<午前> 小平市立中央公民館

〒187-0032 東京都小平市小川町2-1325

<午後> 国立国会図書館国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

【bコース】

<午前> 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横瀬1-4-1

<午後> すみだ生涯学習センター

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-38-7

【cコース】

<午前> 杉並区児童青少年センター（ゆう杉並）

〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-56-3

<午後> 国立西洋美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

【dコース】

<午前> 千葉市科学館

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-5-1

<午後> 浦安市立中央図書館

〒279-0004 千葉県浦安市猫実1-2-1

【eコース】

- <午前> いろは遊学館（公民館）
〒350-0004 埼玉県志木市本町1-10-1
<午後> 川越市立博物館
〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1

【fコース】

- <午前> 横浜市中心図書館
〒220-0032 神奈川県横浜市西区老松町1
<午後> 横浜市青少年育成センター
〒231-8454 神奈川県横浜市中区住吉町4-42-1

②新潟会場

- <午前> 新潟市秋葉区文化会館
〒956-0033 新潟県新潟市秋葉区新栄町4-23
<午後> 新潟県埋蔵文化財センター
〒956-0845 新潟県新潟市秋葉区金津93-1

③静岡会場

- <午前> 島田市立島田図書館
〒427-0022 静岡県島田市本通3丁目3-3
<午後> ディスカバリーパーク焼津
〒425-0052 静岡県焼津市田尻2968-1

④鳥取会場

- <午前> 倉吉市小鴨公民館
〒682-0856 鳥取県倉吉市中河原772-6
<午後> 倉吉博物館
〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8

⑤島根東・島根西会場（合同で実施）

- <午前> 荒木コミュニティセンター
〒699-0722 島根県出雲市大社町北荒木389-2
<午後> 島根県立宍道湖自然館「ゴビウス」
〒691-0076 島根県出雲市園町1659-5

⑥広島会場・福山会場（合同で実施）

- <午前> 広島県立美術館
〒730-0014 広島県広島市中区上幟町2-22
<午後> 広島市まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036 広島県広島市中区袋町6-36

⑦愛媛会場

- <午前> 高松市三谷コミュニティセンター
〒761-0450 香川県高松市三谷町1201-1
<午後> 香川大学生涯学習教育研究センター
〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

⑧沖縄会場

- <午前> 沖縄県立図書館
〒902-0064 沖縄県那覇市寄宮1-2-16
<午後> 沖縄県立博物館・美術館
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

7. 講習を行う科目名，単位数，内容・テーマ，配当時間数，教育方法及び講師

<別表1>のとおり

8. 日 程

<別表2>のとおり

9. 受講申込み手続

(1) 申込方法および申込先

受講希望者は、「(2)提出書類」のうち必要な書類を、勤務地に所在する都道府県教育委員会の社会教育主事講習担当宛に提出してください。

また、公務員以外の者は、居住されている都道府県教育委員会に提出してください。

なお、独立行政法人国立青少年教育振興機構に勤務する者で都道府県教育委員会との人事交流で採用されている職員は、派遣元の都道府県教育委員会に提出してください。

(2) 提出書類 (下記ア. 及びイ. の提出は必須です。)

ア. 「社会教育主事講習[B]受講申込書」…【様式1】

当センターホームページから、申込書様式をダウンロードし、必要事項を記入、押印のうえご提出ください。記入した申込書のデータについても、申込先が指定する方法で、上記とあわせてご提出ください。

＜申込書様式のダウンロード＞

下記URLからダウンロードしてください。

<http://www.nier.go.jp/jissen/youkou/h25youkou/index.htm>

イ. 「受講資格」を証明する書類（上記アの「⑩受講資格」欄を証明する書類）

社会教育主事講習等規程（昭和26年文部省令第12号。以下、「省令」。）

第2条各号において、提出が必要な書類は下記のとおりとします。

＜第1号該当者＞

a) 最終学歴の「卒業証明書」

b) 大学在学中の者は、「在学証明書」及び「本講習の受講が学業・卒業に支障のない旨を記した大学からの書面」（様式自由）

＜第2号該当者＞

教育職員の普通免許状の写、又は、教育職員免許状授与証明書

＜第3, 第4, および第5号該当者＞

所属長が証明する「勤務証明書」…【様式2】

※ 写しを提出する場合は、所属機関又は推薦機関の「原本証明」が必要です。

ウ. 「単位修得認定申請書」……【様式3】

単位修得の認定を希望する者のみ。詳細は、下記「11. 科目代替について」を参照してください。

エ. 「単位修得証明書」……【様式4】

講習の分割受講を希望する者のみ。詳細は、下記「12. 分割受講について」を参照してください。

オ. 「受講動機について」……【様式5】

本講習の受講を希望した理由を400字程度で記入の上、提出してください。

なお、過去に本講習の受講経験がある方は提出不要です。

(3) 提出期日

都道府県教育委員会は、前項の受講希望者について、受講資格の有無を審査して、資格があると認めた場合には、前記書類に「推薦書」(様式6)を添えて、**平成25年12月2日(月) [必着]**までに、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターに送付してください。受講希望者が2人以上の場合は、推薦書に推薦順位を付けてください。また、各人の受講申込書データを、下記要領によりメールでお送りください。

<申込様式の提出方法>

送信先メールアドレス：shujikou@nier.go.jp

メールの件名は、下記のとおり記載してください。

件名：【提出(〇〇県)】平成25年度社会教育主事講習[B]受講申込書データ

10. 実施会場における受講について

実施会場では、インターネットにより、「生涯学習概論」(2単位)、「社会教育計画」(2単位)、「社会教育特講」(3単位)を受講することができます。

また、以下の会場では、「社会教育演習」(2単位)も受講することができます。

(※ 島根西会場の受講希望者は、当該科目は、島根東会場での受講となります。)

<「社会教育演習」を行う会場(宿泊研修は6.(3)参照)>

- | | |
|----------------------|---------|
| ・新潟県立生涯学習推進センター | 【新潟会場】 |
| ・(財)静岡県教育会館 | 【静岡会場】 |
| ・琴浦町生涯学習センター | 【鳥取会場】 |
| ・島根県立東部社会教育研修センター | 【島根東会場】 |
| ・広島県立生涯学習センター | 【広島会場】 |
| ・まなびの館ローズコム | 【福山会場】 |
| ・新居浜市立泉川公民館 | 【愛媛会場】 |
| ・沖縄県南部合同庁舎生涯学習推進センター | 【沖縄会場】 |

11. 科目代替について

(1) 省令第7条第2項及び第3項の規定により、大学における科目の既修得単位、及び、文部科学大臣が定める学修をもって、本講習において受講者が修得すべき科目の単位に替えることができます。

ただし、4科目全ての代替は認めませんので、1科目以上は受講してください。

また、代替できる単位は、受講申込みの時点で修得済であることが必要ですので、ご留意願います。

(2) 国立教育政策研究所は、下記①または②の条件を満たす場合は「社会教育特講[3単位]」(下記ア.のとおり)、下記③の条件を満たす場合は「生涯学習概論[2単位]」及び「社会教育特講[3単位]」(下記イ.のとおり)の単位修得の認定を行います。

ア. 「社会教育特講[3単位]」に代替

- ① 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター又は国立教育会館社会教育研修所における「博物館職員講習」「図書館司書専門講座」の修了
- ② 文部科学省認定社会通信教育の「生涯学習ボランティアコース」の修了

イ. 「生涯学習概論[2単位]」及び「社会教育特講[3単位]」に代替

- ③ 放送大学における社会教育主事講習の科目に相当する科目の修得

(3) 科目代替を希望する場合は、「単位修得認定申請書」(様式3)に必要事項を記入の上、当該科目に相当する科目の「単位修得証明書」「研修講座の修了証書」等を添付してください。ただし、証明書類について写しを提出する場合は、所属機関又は推薦機関による「原本証明」が必要です。

12. 分割受講について

本講習では、科目ごとの分割受講のほか、複数年度にわたる分割受講を認めています。ただし、一つの科目の分割受講はできません。

また、分割受講についても、講習内容を体系的に理解し、実践力を高めてもらうため、原則として、①生涯学習概論、②社会教育計画、③社会教育演習の順序での履修をお願いします(社会教育特講については、生涯学習概論の履修後であれば、履修は可能です。)。

既に、当研究所以外の機関あるいは大学において、社会教育法第9条の5に定める社会教育主事講習の一部科目の単位を修得しており、当該科目の受講の免除を希望する場合は、「単位修得証明書」(様式4)を提出してください。

ただし、証明書類について、写しを提出する場合は、所属機関又は推薦機関による「原本証明」が必要です。

(なお、当センターが実施する講習で修得した場合は、(様式4)の添付は不要です。その場合は、「受講申込書」(様式1)の「⑧単位修得の認定を受けた科目及び単位」欄に、修得科目名及び単位数とあわせて、「受講年度」と「講習名」を記入してください。

(記入例：生涯学習概論2単位(平成〇〇年度[B]))。

13. 受講者の選定及び受講者決定の通知

国立教育政策研究所は、「社会教育主事講習運営委員会」の意見を基に受講者を選定し、その結果を、推薦のあった都道府県教育委員会及び受講者本人に通知します。

なお、受講対象者の選考を行う際には、文部科学省が定める本講習の運用指針(社会教育主事講習の実施について(運用指針))に基づき、まず都道府県市町村の職員を、次に「社会教育主事補の職と同等以上の職及び社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するもの並びに教育に関する職を指定(H8.8.28文部省告示第148号)」に規定されている職についている者を優先することとしますので念のため申し添えます。

14. 修了証書

国立教育政策研究所は、省令第8条により、本講習において9単位以上の単位を修得した者に対して、受講終了後、講習の修了証書を授与します。

なお、修得単位が9単位に満たない者に対しては、修得した科目の「単位修得証明書」(様式4)を交付します。

15. 受講に要する経費

受講に要する経費(例：交通費、食費、宿泊費等)は、受講者側の負担とします。

16. 受講に際しての留意点

本講習は、原則として欠席を認めていません。やむを得ず欠席する場合は、所定様式に欠席理由等を記載し、当センターに提出する必要があります。

なお、欠席することにより、単位修得が認められない場合があります。

17. 持参品

- (1) 印鑑（出席簿への押印用）
- (2) 運動着・運動靴（宿泊研修での体育館用）、健康保険証
- (3) 『生涯学習・社会教育行政必携』（最新版）
- (4) 勤務地等の社会教育・生涯学習振興に関する資料（社会教育演習「事業計画立案の実際」で使用）

18. 宿泊について

当センターには宿泊施設はありません。宿泊予定の方は、近隣のホテル等を各自で手配してくださるようお願いいたします。

19. 健康管理について

長期にわたる講習のため、受講申込の際は、受講申込書(様式1)「⑩健康状況」欄に該当する事項は漏れなく御記入ください。また、受講申込後に生じた疾病等についても必ず当センターに御連絡いただくようお願い致します。

20. その他

- (1) 本実施要項に関する問い合わせは、下記本件担当連絡先までお願いします。
- (2) 講習期間中は、昼休みや講義終了後に、講座を運営する上で必要な情報をお知らせすることがありますので、予め御承知おきください。
- (3) 社会教育実践研究センター館内は禁煙です。喫煙は所定の場所で行います。
- (4) 当センターには駐車・駐輪スペースがございません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。
- (5) 講習期間中の万が一の事故や怪我に備えて、傷害保険等に加入するなどして、各自の責任で万全を期して御参加ください。
- (6) 本要項に定めるものの他、講習実施に関することは、必要に応じて、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長が定めます。

【本件担当】

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
企画課普及・調査係（担当：佐藤・鳥越）

TEL：03-3823-8420

FAX：03-3823-3008

E-mail：shujikou@nier.go.jp

平成25年度社会教育主事講習[B]講習を行う科目名、単位数、内容・テーマ、配当時間数、教育方法及び講師

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師	
生 涯 学 習 概 論	2	1 生涯学習の意義と生涯学習社会の構築				
		(1) 生涯学習社会構築の意義と生涯学習・生涯教育論の系譜	1.5	講義	青山学院大学教育人間科学部長・教授 鈴木 眞理	
		(2) 生涯学習社会における社会教育の役割	1.5			
		(3) 生涯学習社会における学校教育の役割	1.5	講義	文教大学学長 野島 正也	
		(4) 家庭・学校・社会の連携と学習システム	1.5			
		(5) 生涯学習振興施策の動向	1.5	講義	文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 坪田 知広	
		2 社会教育の意義と特性				
		(1) 教育の原理と社会教育の意義・特質	1.5	講義	東京家政大学教授 山本 和人	
		(2) 我が国の社会教育史	1.5	講義	広島大学大学院准教授 久井 英輔	
		(3) 外国の社会教育の歴史と動向	1.5	講義	聖心女子大学教授 澤野 由紀子	
		3 社会教育行政の展開				
		(1) 社会教育行政の意義と役割	1.5	講義	香川大学生涯学習教育研究センター長 教授 清國 祐二	
		(2) 一般行政と社会教育行政の連携	1.5			
		(3) 社会教育施設の役割と機能	3	講義	九州共立大学教授 古市 勝也	
		(4) 関係法令と行政組織	1.5	講義	文部科学省生涯学習政策局社会教育課 企画官 新木 聡	
		(5) 都道府県の予算と施策	1.5	講義	栃木県教育委員会事務局 生涯学習課長 上田 裕司	
		(6) 市町村の予算と施策	1.5	講義	栃木県宇都宮市教育委員会 生涯学習課主任主事 間宮 美徳	
		4 社会教育の内容・方法と指導者				
		(1) 社会教育の内容・方法・形態	1.5	講義	宮城教育大学大学院教授 梨本 雄太郎	
		(2) 社会教育指導者とその役割	1.5	講義	札幌国際大学教授 佐久間 章	
(3) 社会教育主事の職務と資質・能力	1.5					
(4) 社会教育指導者の現状と課題	3	シホ ジウム	岩手県教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 富手 冬樹 福岡県筑紫野市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 亀井 美和 国立教育政策研究所社会教育実践研究 センター			
		小 計	30			

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 計 画	2	1 地域社会と社会教育 ----- (1) 生涯学習の推進とまちづくり (2) 地域総合計画と社会教育計画	3	講義 事例研究	宮崎大学名誉教授 上條 秀元 ----- 秋田県秋田市教育委員会生涯学習室長 渡部 和王
		2 社会教育調査とデータ活用 ----- (1) 調査の意義と内容 (2) 調査の企画とデータの分析・活用	3	講義	東北学院大学教授 水谷 修
	2	3 社会教育事業計画 ----- (1) 事業計画の意義と内容 (2) 事業の企画及びプログラム編成の視点と手順 ----- (3) 学習成果の評価と活用	3 1.5	講義 講義	文教大学教授 金藤 ふゆ子 秋田大学准教授 原 義彦
		4 社会教育の対象の理解と組織化 ----- (1) 学習者の特性の理解 (2) 学習集団形成のプロセスと支援	3	講義	岡山大学大学院准教授 熊谷 慎之輔
	2	5 学習情報提供・学習相談の意義と内容・方法 ----- (1) 学習情報提供・学習相談の意義 ----- (2) 学習情報提供・学習相談の実際	3 1.5	講義 事例研究	八洲学園大学教授 浅井 経子 神奈川県立図書館 主幹兼社会教育主事 学習相談員 加藤 佳代 中山 耕造
		6 社会教育の広報・広聴	3	講義	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官 立田 慶裕
	2	7 社会教育施設の経営 ----- (1) 公民館経営の実際 ----- (2) 博物館経営の実際 ----- (3) 図書館経営の実際	1.5 1.5 1.5	講義 講義 講義	新潟県長岡市中央公民館館長 武樋 正隆 富山県立近代美術館館長 雪山 行二 三重県桑名市中央図書館館長 安田 憲一
		8 社会教育の評価 ----- (1) 評価の意義と視点 (2) 評価の内容と方法 ----- (3) 行政評価・事業評価の実際	3 1.5	講義 事例研究	筑波大学名誉教授 山本 恒夫 千葉県松戸市教育委員会 生涯学習部社会教育課 主任主事 主事 海老原 弘一 菊池 弘和
		小 計	30		

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 特 講	3	1 社会の諸課題			
		(1) 国際化と社会教育	1.5	講義	明治学院大学教授 坂口 緑
		(2) 高齢化と社会教育	1.5	講義	聖学院大学准教授 小池 茂子
		(3) 情報化と社会教育	1.5	講義	東京大学大学院教授 水越 伸
		(4) 科学技術の進展と社会教育	1.5	講義	国立科学博物館理工学研究部 科学技術史グループ長 鈴木 一義
		(5) 家庭教育と社会教育① (家庭・家族の諸問題)	1.5	講義	大阪府立大学教授 山野 則子
		(6) 家庭教育と社会教育② (家庭教育支援)	3	講義 事例研究	九州女子大学准教授 大島 まな 京都府京都市教育委員会事務局生涯学習部 家庭地域教育支援担当社会教育主事 安田 ちえの
		(7) 青少年問題と社会教育	1.5	講義	千葉大学名誉教授 明石 要一
		(8) 男女共同参画社会の形成と社会教育	1.5	講義	中央大学教授 広岡 守穂
		(9) 環境問題と社会教育	1.5	講義	滋賀大学環境総合研究センター 副センター長・教授 市川 智史
		(10) 社会福祉と社会教育	1.5	講義	大妻女子大学教授 川廷 宗之
		(11) 民間の教育・学習機関	1.5	講義	特定非営利活動法人シブヤ大学学長 左京 泰明
		(12) キャリア教育・職業教育	1.5	講義	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事 産業能率大学元教授 小野 紘昭
		(13) 人権教育	1.5	講義	山梨県立大学特任教授 福田 弘
		(14) ボランティア活動	3	講義 事例研究	日本ボランティア学習協会常任理事 桐蔭横浜大学客員教授 木村 清一 埼玉県久喜市教育委員会生涯学習課 課長補佐・社会教育主事 朝武 紀雄 埼玉県久喜市放課後子ども教室 運営委員会会長 飯島 祐紀夫
		(15) 健康教育	1.5	講義	群馬大学大学院教授 吉田 亨
		(16) 消費者教育	1.5	講義	椙山女学園大学教授 東 珠実
		(17) 文化財保護	1.5	講義	文化庁文化財部伝統文化課課長補佐 中平 公士
		(18) 芸術文化	1.5	講義	(株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部門主席研究員・芸術文化 プロジェクト室長 吉本 光宏
		(19) 著作権	1.5	講義	国立教育政策研究所企画普及室長 大和 淳
		2 生涯学習をめぐる新しい動向			
		(1) 学校と地域社会	3	講義 事例研究	東京家政大学専任講師 宮地 孝宜 香川県さぬき市寒川公民館館長 川崎 登
		(2) 青少年の体験活動	3	講義 事例研究	文教大学専任講師 青山 鉄兵 国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員 寺中 拓也
		(3) 新しい公共とNPO	1.5	講義	亜細亜大学教授 栗田 充治
		(4) 地方分権と規制緩和	1.5	講義	埼玉大学准教授 斎藤 友之
		(5) 地域における連携・協働の推進	1.5	講義	佛教大学教授 白石 克己
		(6) 大学機能の開放・拡充	1.5	講義	放送大学教授 岩永 雅也
		(7) 防災教育	1.5	講義	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀 研究機構副理事長 室崎 益輝
		小 計	45		

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 演 習	2	1 教育施設整備の動向（現地研修）	6	演習	<p>【主会場】 (a コース) 小平市立中央公民館 国立国会図書館国際子ども図書館 (b コース) 東京都江戸東京博物館 すみだ生涯学習センター (c コース) 杉並区児童青少年センター(ゆう杉並) 国立西洋美術館 (d コース) 千葉県科学館 浦安市立中央図書館 (e コース) いろは遊学館(公民館) 川崎市立博物館 (f コース) 横浜市中央図書館 横浜市青少年育成センター</p> <p>【新潟会場】 新潟市秋葉区文化会館 新潟県埋蔵文化財センター</p> <p>【静岡会場】 島田市立島田図書館 ディスカバリーパーク焼津</p> <p>【鳥取会場】 倉吉市小鴨公民館 倉吉博物館</p> <p>【島根東・島根西会場合同】 荒木コミュニティセンター 島根県立宍道湖自然館「ゴビウス」</p> <p>【広島・福山会場合同】 広島県立美術館 広島市まちづくり市民交流プラザ</p> <p>【愛媛会場】 高松市三谷コミュニティセンター 香川大学生涯学習教育研究センター</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県立図書館 沖縄県立博物館・美術館</p>

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 演 習	2	2 生涯スポーツの計画	3	講義演習	<p>【主会場・静岡会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家> 株式会社アソビジ代表 中川 綾</p> <p>【新潟会場】 <会場：新潟県立青少年研修センター> 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 <会場：鳥取県立船上山少年自然の家> 鳥取県レクリエーション協会 副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家> 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 金沢 民恵 社会教育主事 松田 愛子</p> <p>【沖縄会場】 <会場：沖縄県立糸満青少年の家> 専修学校育成保育カレッジ学院 専任講師 細田 奈々</p>
		(1) グループワークの実際			
		(2) 生涯スポーツの意義と計画	3	講義演習	

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 演 習	2	(3) 生涯スポーツの実際	3	講義演習	<p>【主会場・静岡会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家> 日本体操研究所講師 荒金 幸子</p> <p>【新潟会場】 <会場：新潟県立青少年研修センター> 新潟大学教授 篠田 邦彦</p> <p>【鳥取会場】 <会場：鳥取県立船上山少年自然の家> 鳥取県レクリエーション協会 副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家> 国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職 福江 大幸</p> <p>【沖縄会場】 <会場：沖縄県立糸満青少年の家> Sports life design project 有限責任事業組合代表 慶田花 英太</p>
		(4) レクリエーションの意義と展開	3	講義演習	<p>【主会場・静岡会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家> 公益財団法人日本レクリエーション協会 レクリエーション支援者育成チームマネージャー 小久保 信幸 公認指導者養成機関チームディレクター 小山 亮二</p> <p>【新潟会場】 <会場：新潟県立青少年研修センター> 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】 <会場：鳥取県立船上山少年自然の家> 鳥取県レクリエーション協会 副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 <会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家> 広島県立福山少年自然の家副所長 石川 順雄</p> <p>【沖縄会場】 <会場：沖縄県立糸満青少年の家> 専修学校育成保育カレッジ学院 専任講師 細田 奈々</p>

科目名	単位数	内 容 ・ テ ー マ	配 当 時間数	教育 方法	講 師
社 会 教 育 演 習	2	3 教育事業の立案・展開の実際	27	演習	<p>【主会場】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 主任社会教育主事 河野 健</p> <p>千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 社会教育主事 岡野 健一郎</p> <p>神奈川県教育委員会教育局生涯学習部 生涯学習課主任主事 西澤 一志</p> <p>【新潟会場】 新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 青木 孝史</p> <p>【静岡会場】 静岡県教育委員会社会教育課 社会教育主事 鈴木 香 主査 平川 雅博</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局東部教育局 社会教育担当社会教育主事 寺谷 孝志</p> <p>【島根東・島根西会場合同】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉</p> <p>【広島会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 金沢 民恵</p> <p>【福山会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 松田 愛子</p> <p>【愛媛会場】 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事 與儀 毅 社会教育主事 知念 賢世</p>
		事業計画立案の実際			
		小 計	45		
計		合 計	150		

平成25年度社会教育主事講習[B] 日程表

【科目名】「生涯学習概論」[2単位]

9:00		9:30		11:00		11:15		12:45		14:00		15:30		15:45		17:15	
<p>【1/22(水)の日程】</p> <p>8:15～ 8:55 受付</p> <p>9:00～ 9:25 開講式・オリエンテーション</p> <p>9:30～17:15 講義</p> <p>17:20～18:00 オリエンテーション</p>																	
生涯 学 習 概 論	1/22 (水)	生涯学習振興 施策の動向 文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課長 坪田 知広	外国の社会教育の 歴史と動向 聖心女子大学教授 澤野 由紀子	我が国の社会教育史 広島大学大学院准教授 久井 英輔	教育の原理と社会教育 の意義・特質 東京家政大学教授 山本 和人	(オリエンテーション)											
	1/23 (木)	生涯学習社会における学校教育の役割 家庭・学校・社会の連携と学習システム 文教大学学長 野島 正也			生涯学習社会構築の意義と生涯学習・ 生涯教育論の系譜 生涯学習社会における社会教育の役割 青山学院大学教育人間科学部長・教授 鈴木 眞理												
	1/24 (金)	社会教育行政の意義と役割 一般行政と社会教育行政の連携 香川大学生涯学習教育研究センター長・教授 清國 祐二			社会教育施設の役割と機能 九州共立大学教授 古市 勝也												
	1/27 (月)	市町村の予算と施策 栃木県宇都宮市教育委員会 生涯学習課主任主事 間中 美德	都道府県の予算と施策 栃木県教育委員会事務局 生涯学習課長 上田 裕司	社会教育の内容・ 方法・形態 宮城教育大学大学院教授 梨本 雄太郎	関係法令と行政組織 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課企画官 新木 聡												
	1/28 (火)	社会教育指導者とその役割 社会教育主事の職務と資質・能力 札幌国際大学教授 佐久間 章			社会教育指導者の現状と課題 (シンポジウム) 岩手県教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 富手 冬樹 福岡県筑紫野市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 亀井 美和 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター												

【科目名】「社会教育演習」[2単位]

9:00 9:30		12:45 14:00		17:15
社会教育演習	1/29 (水)	(移動)	受付 オリエンテーション	グループワークの実際 【主会場・静岡会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家] 株式会社アソビジ代表 中川 綾 【新潟会場】 [会場：新潟県立青少年研修センター] 一般財団法人小千谷市産業開発センター 地域復興支援員 加藤 圭 【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県レクリエーション協会 副会長 玉木 純一 【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家] 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 金沢 民恵 社会教育主事 松田 愛子 【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] 専修学校育成保育カレッジ学院 専任講師 細田 奈々
	1/30 (木)	生涯スポーツの意義と計画 【主会場・静岡会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家] 鹿屋体育大学 副学長・教授 川西 正志 【新潟会場】 [会場：新潟県立青少年研修センター] 新潟大学 教授 篠田 邦彦 【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県教育委員会事務局 スポーツ健康教育課係長 岡崎 浩一 鳥取県倉吉市教育委員会事務局生涯学習課 市民スポーツ係主任 三浦 伸宏 【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家] 広島県教育委員会事務局教育部スポーツ振興課 主幹 小別所 智昭 指導主事 濱田 志郎 【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] Sports life design project有限責任事業組合 代表 慶田花 英太	生涯スポーツの実際 【主会場・静岡会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家] 日本体操研究所講師 荒金 幸子 【新潟会場】 [会場：新潟県立青少年研修センター] 新潟大学 教授 篠田 邦彦 【鳥取会場】 [会場：鳥取県立船上山少年自然の家] 鳥取県レクリエーション協会 副会長 玉木 純一 【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】 [会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家] 国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職 福江 大幸 【沖縄会場】 [会場：沖縄県立糸満青少年の家] Sports life design project有限責任事業組合 代表 慶田花 英太	

【科目名】「社会教育演習」[2単位]

9:00		9:30	12:45	14:00	17:15	
社会教育演習	1/31 (金)	<p>レクリエーションの意義と展開</p> <p>【主会場・静岡会場合同】</p> <p>[会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立中央青少年交流の家]</p> <p>公益財団法人日本レクリエーション協会</p> <p>レクリエーション支援者育成チーム</p> <p style="padding-left: 40px;">マネージャー 小久保 信幸</p> <p>公認指導者養成機関チーム</p> <p style="padding-left: 40px;">ディレクター 小山 亮二</p> <p>【新潟会場】</p> <p>[会場：新潟県立青少年研修センター]</p> <p>一般財団法人小千谷市産業開発センター</p> <p style="padding-left: 40px;">地域復興支援員 加藤 圭</p> <p>【鳥取会場】</p> <p>[会場：鳥取県立船上山少年自然の家]</p> <p>鳥取県レクリエーション協会</p> <p style="padding-left: 40px;">副会長 玉木 純一</p> <p>【広島・福山・島根東・島根西・愛媛会場合同】</p> <p>[会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家]</p> <p>広島県立福山少年自然の家</p> <p style="padding-left: 40px;">副所長 石川 順雄</p> <p>【沖縄会場】</p> <p>[会場：沖縄県立糸満青少年の家]</p> <p>専修学校育成保育カレッジ学院</p> <p style="padding-left: 40px;">専任講師 細田 奈々</p>			(移動)	

【科目名】「社会教育計画」[2単位]

9:00		9:30		11:00 11:15		12:45 14:00		15:30 15:45		17:15			
社会 教育 計 画	2/3 (月)	事業計画の意義と内容 事業の企画及びプログラム編成の視点と手順				公民館経営の実際				博物館経営の実際			
		文教大学教授 金藤 ふゆ子				新潟県長岡市中央公民館 館長 武樋 正隆				富山県立近代美術館 館長 雪山 行二			
	2/4 (火)	生涯学習の推進とまちづくり 地域総合計画と社会教育計画				社会教育の広報・広聴							
		宮崎大学名誉教授 上條 秀元				国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官 立田 慶裕							
		<事例研究> 秋田県秋田市教育委員会生涯学習室長 渡部 和王											
2/5 (水)	学習情報提供・学習相談の意義				調査の意義と内容 調査の企画とデータの分析・活用				東北学院大学教授 水谷 修				
	八洲学園大学教授 浅井 経子												
2/6 (木)	学習成果の評価と活用		学習情報提供・学習 相談の実際		学習者の特性の理解 学習集団形成のプロセスと支援								
	秋田大学准教授 原 義彦		<事例研究> 神奈川県立図書館 主幹兼社会教育主事 加藤 佳代 学習相談員 中山 耕造		岡山大学大学院准教授 熊谷 慎之輔								
2/7 (金)	行政評価・事業評価 の実際		図書館経営の実際		評価の意義と視点 評価の内容と方法								
	<事例研究> 千葉県松戸市教育委員会 生涯学習部社会教育課 主任主事 海老原 弘一 主事 菊池 弘和		三重県桑名市立中央図書館 館長 安田 憲一		筑波大学名誉教授 山本 恒夫								

【科目名】「社会教育特講」[3単位]

		9:00	9:30	11:00	11:15	12:45	14:00	15:30	15:45	17:15
社会教育特講	2/10 (月)	国際化と社会教育 明治学院大学教授 坂口 緑	キャリア教育・職業教育 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事・産業能率大学元教授 小野 紘昭	防災教育 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 室崎 益輝	科学技術の進展と社会教育 国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長 鈴木 一義					
	2/12 (水)	高齢化と社会教育 聖学院大学准教授 小池 茂子	著作権 国立教育政策研究所企画普及室長 大和 淳	ボランティア活動 日本ボランティア学習協会常任理事 桐蔭横浜大学客員教授 木村 清一 <事例研究> 埼玉県久喜市教育委員会生涯学習課課長補佐・社会教育主事 朝武 紀雄 埼玉県久喜市放課後子ども教室運営委員会 会長 飯島 祐紀夫						
	2/13 (木)	文化財保護 文化庁文化財部伝統文化課課長補佐 中平 公士	情報化と社会教育 東京大学大学院教授 水越 伸	環境問題と社会教育 滋賀大学環境総合研究センター副センター長・教授 市川 智史	民間の教育・学習機関 特定非営利活動法人シブヤ大学 学長 左京 泰明					
	2/14 (金)	青少年問題と社会教育 千葉大学名誉教授 明石 要一	人権教育 山梨県立大学特任教授 福田 弘	青少年の体験活動 文教大学専任講師 青山 鉄兵 <事例研究> 国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員 寺中 拓也						

【科目名】「社会教育特講」[3単位]/社会教育演習][2単位]

		9:00	9:30	11:00	11:15	12:45	14:00	15:30	15:45	17:15
社会教育特講	2/17 (月)	社会福祉と社会教育		家庭教育と社会教育① (家庭・家族の諸問題)		男女共同参画社会の形成と社会教育		芸術文化 (株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部門主席研究員 芸術文化プロジェクト室長 吉本 光宏		
	2/18 (火)	学校と地域社会 <事例研究>		東京家政大学専任講師 宮地 孝宜 香川県さぬき市寒川公民館 館長 川崎 登		家庭教育と社会教育② (家庭教育支援) <事例研究> 京都府京都市教育委員会事務局生涯学習部 家庭地域教育支援担当社会教育主事 安田 ちえの		九州女子大学准教授 大島 まな		
	2/19 (水)	地方分権と規制緩和		地域における連携・協働の推進		新しい公共とNPO		健康教育		
社会教育演習	2/20 (木)	「教育施設整備の動向」(現地研修) 【主会場】 a: 小平市立中央公民館 b: 東京都江戸東京博物館 c: 杉並区児童青少年センター(ゆう杉並) d: 千葉県科学館 e: いろは遊学館(公民館) f: 横浜市中央図書館				「教育施設整備の動向」(現地研修) 【主会場】 a: 国立国会図書館国際子ども図書館 b: すみだ生涯学習センター c: 国立西洋美術館 d: 浦安市立中央図書館 e: 川越市立博物館 f: 横浜市青少年育成センター				
社会教育特講	2/21 (金)	大学機能の開放・拡充		消費者教育		(課題別研究)				
		放送大学教授 岩永 雅也		椋山女学園大学教授 東 珠実						

【科目名】「社会教育演習」[2単位]

9:00 9:30		12:45 14:00		17:15
社会教育演習	2/24 (月)	<p>事業計画立案の実際</p> <p>【主会場】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 主任社会教育主事 河野 健 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 社会教育主事 岡野 健一郎 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課 主任主事 西澤 一志</p> <p>【新潟会場】 新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 青木 孝史</p> <p>【静岡会場】 静岡県教育委員会社会教育課 社会教育主事 鈴木 香 主査 平川 雅博</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局東部教育局 社会教育担当社会教育主事 寺谷 孝志</p> <p>【島根東・島根西会場合同】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉</p> <p>【広島会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 金沢 民恵</p> <p>【福山会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 松田 愛子</p> <p>【愛媛会場】 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事 與儀 毅 社会教育主事 知念 賢世</p>	<p>事業計画立案の実際</p> <p>【主会場】 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 主任社会教育主事 河野 健 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 社会教育主事 岡野 健一郎 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課 主任主事 西澤 一志</p> <p>【新潟会場】 新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課長 青木 孝史</p> <p>【静岡会場】 静岡県教育委員会社会教育課 社会教育主事 鈴木 香 主査 平川 雅博</p> <p>【鳥取会場】 鳥取県教育委員会事務局家庭・地域教育課 社会教育担当社会教育主事 寺谷 孝志</p> <p>【島根東・島根西会場合同】 島根県立東部社会教育研修センター 研修調査課長兼社会教育主事 日野 伸哉</p> <p>【広島会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 金沢 民恵</p> <p>【福山会場】 広島県立生涯学習センター振興課 社会教育主事 松田 愛子</p> <p>【愛媛会場】 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治</p> <p>【沖縄会場】 沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育主事 與儀 毅 社会教育主事 知念 賢世</p>	
	2/25 (火)	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	
	2/26 (水)	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	
	2/27 (木)	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	
	2/28 (金)	<p>事業計画立案の実際 ※2/24と同じ</p>	<p>閉講式 13:00～</p>	